

〔目次〕

【開催案内】平成 29 年度共同主催国際会議
「国際測地学協会及び国際地震学・
地球内部物理学協会合同学術総会 (IAG-IASPEI2017)」

■-----
平成 29 年度共同主催国際会議
「国際測地学協会及び国際地震学・
地球内部物理学協会合同学術総会 (IAG-IASPEI2017)」の開催について
-----■

会 期：平成 29 年 7 月 30 日（日）～8 月 4 日（金）[6 日間]
場 所：神戸国際会議場、神戸商工会議所会館（兵庫県神戸市）

日本学術会議及び公益社団法人日本地震学会、日本測地学会が共同主催する
「国際測地学協会及び国際地震学・地球内部物理学協会合同学術総会
(IAG-IASPEI2017)」が、
7 月 30 日（日）より、神戸国際会議場、神戸商工会議所会館で開催されます。

この度の国際測地学協会及び国際地震学・地球内部物理学協会合同学術総会
(IAG-IASPEI2017)では、『Exploring our restless Earth』をメインテーマに
世界各地で発生する大地震、地震の発生機構やその背景、大地震による地震動
やその予測、地球の内部構造、世界に広がる多種多様な観測などの地震学・
地球内部物理学トピック、ならびに、測地座標系、重力場、地球力学と
地球回転、測位と応用等の測地学トピックの他、合同シンポジウムとして、
極域における観測、測地学・地震学的手法による地殻やリソスフェアの構造や
ダイナミクス、断層帯の変形プロセス、地震・津波の早期警戒システムなど
について研究発表と討論が行なわれることになっております。

本会議には 62 カ国・地域から約 1,000 名の参加が見込まれています。

この会議を日本で開催することは、我が国における測地学及び地震学・
地球内部物理学の先進性を全世界の研究者に大きくアピールし、
多くの研究者の参画を促す絶好の機会となるとともに、我が国のこの分野の
科学者が世界の多くの科学者と直接交流する機会を与えることとなり、
我が国の測地学及び地震学・地球内部物理学に関する研究を一層発展させる
契機となります。

また、開催地の神戸市は 22 年前に阪神・淡路大震災を経験しており、
この震災は地震に関する政府の体制を大きく変えることとなり、
日本の測地学・地震学が大きく発展するきっかけとなりました。
このような地で合同総会を開催することは、世界各地から参加する
測地学者・地震学者及び一般市民にとっても大きな意義があります。

また、一般市民を対象とした市民公開講座として、
7 月 30 日（日）に「変動する地球を追い求めて-測地学、地震学の最前線-」が
開催されることとなっております。

関係者の皆様に周知いただくとともに、是非、御参加いただけますよう
お願いいたします。

国際測地学協会及び国際地震学・地球内部物理学協会合同学術総会
(IAG-IASPEI2017)市民公開講座
「変動する地球を追い求めて-測地学、地震学の最前線-」
日 時：平成 29 年 7 月 30 日（日）14:00～16:00
会 場：神戸国際会議場 国際会議室 (301)

※内容等の詳細は以下のホームページをご参照ください。

○国際会議公式ホームページ (<http://www.iag-iaspei-2017.jp/>)

○市民公開講座案内

(<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kokusai/english/shiminkoukaikouza.pdf>)

【問合せ先】日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付国際会議担当

(Tel : 03-3403-5731、Mail : i254@scj.go.jp)

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報のTwitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/doukou_new.html

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34